

西山地区

コミュニティ協議会だより

【(西風) 令和8年8月号】

発行：西山地区コミュニティ協議会

会長 中村史傳

編集 中村美也子

令和8年8月19日発行

薩摩川内市下甕町瀬々野浦 1194

TEL 09969-5-0122

FAX 09969-5-0355

これからの行事（9月の行事予定）

- 1日(月) 事務局会議
- 4日(金) 主事 ZOOM 会議
- 12日(土) 敬老会
- 14日(月) 移動診療・支所移動車
- 15日(火) 事務局会議
- 20日(日) 地区内清掃
- 27日(日) 西山大運動会
- 28日(月) 支所移動車

健康体操・サロンは9月はお休みです

道路愛護

🌞8/2(日) お疲れ様でした。朝7時から行いましたが30名近い人が協力して下さり1時間足らずで終了しました。巡田建設や中野建設のボランティアの方に助けられました。ご協力いただいた地域の皆さん ありがとうございます。



さっぱりしました。とてもキレイに刈りあげられました。



にしやま夏祭り

8/10(月) 恒例の夏祭りが開催されました。餅投げやカラオケ・出店・ほうろく灸・抽選会と楽しい時間を過ごせました。



夏まつり

西山地区コミュニティ協議会

おめでとう



クリーン大作戦（旧ゴールド集落作業）

7/26（日）お疲れ様でした。上下組に分かれクリーン大作戦で地区内をきれいにしました。草や木が生い茂り以前は見えていた景色が見えなくなって数年後には西山全体が森の中に埋まりそうな・・・住まれてない家・帰られる予定もない家などを移住希望者の方々とお話しして頂ければと思います。そして機会がありましたら故郷の西山にも足を運んでみてください。商店もあるし、民宿もあるし、自販機でジュースも買えるので大丈夫です。是非に・・・お待ちしております・



故郷を探る ㊼

こどまーあとからホーラッホッホ

上標題の囃子語（はやしことば）を理解して何のときのことばだと理解する（シンヌウラふうでいう「ぐんにくる」）人も少なくなっただろう。実はこれは雀追いのはやし立てる文句の一節だ。「向井のスズメァー糶摘むスズメ、こどまァー（子供は）アト（後）からホーラッホッホ」

昭和 30 年代初めごろから瀬々野浦の稲作早期栽培が広まるようになった。従来は早稲（わせ）と晩稲（おくて）の 2 種類で早稲は 9 月末から 10 月中旬、晩稲は 10 月中旬から 10 月下旬頃に収穫するというのがシンヌウラ稲作だ。ところが早期栽培になると 8 月中旬から下旬に収穫して台風にあわない。昔は大きい台風はたいがい 9 月 10 月に襲来している。このようなことから早期栽培に切り替わった。

丁度、稲が開花してコメ粒に固まらない前は乳状の実となっている。この固まらない前の糶をスズメが吸う（摘む）のだ。この時期が夏休みに入ったばかりの頃で向井に田があったので、夏休み初め頃はスズメ追いに親から追い立てられていた。田んぼの脇のせまい空き地ムシロなどで日よけになる小屋をつくり勉強もするのだと机がわりのリンゴ箱まですえつけた。最初のうちは秘密基地めいて夏休みの友とノートやらを持ち込んでいたが 1 問でも解いたのだろうか。スズメの群れが来ると先の声を出し鳴子を曳き時には石を投げてスズメを追ひ払おうとする。一度は逃げてもまたいつの間にか侵入してくる。見張りにあきて侵入を許すと大変だ。こんな時に限って遠山田の田見舞から帰ってきた父から大目玉をくらう。

イタチゴッコならぬスズメゴッコ。



そもそもスズメは人家近くに棲息する鳥だ。丁度スズメはツバメが人家に巣作りするように人家に巣作りする。ツバメは人家の軒下や梁などの人目のつくところに巣作りして大事にされるが、スズメは屋根瓦と屋根板のすき間などに巣作りする。スズメの行動範囲は村近くの田んぼしか侵入してない。遠田にはスズメおどしのキラキラテープを張るか、案山子（かかし）を立てたぐらいでスズメ追いには行ってないと思う。

とにもかくにも早くスズメ追いなんかしてるより海泳ぎに行きたくてスズメ追いがおろそかになっていた。

夏の常食といえば、コッパか麦飯、それが新米を収穫して炊き立てのご飯を鼻先にもっていった時の新米の香りと味は至福口福の時であった。

中村史傳



*まだまだ 暑いです！！ 水分を十分に取って涼しくお過ごしください